

Zephyr

7

オースティン以前・オースティン以後 — 自由間接話法に関する一考察 —	浅 若 裕 彦 (1)
説き伏せる者、解き放たれる者 — 『説得』における母と娘 —	稲 垣 真 利 子 (15)
Faulkner の作品における “Indians” — “Red Leaves” を中心に	梅 垣 昌 子 (29)
迷子たちの楽園 — ‘The Little Girl Lost’ ‘The Little Girl Found’ 試論 —	佐 藤 光 (45)
“Take in Open Sight”: <i>The Faerie Queene</i> 第6巻における恋愛のプライバシー	竹 村 は る み (59)
死と生と Mr. Dombey	畑 田 美 緒 (75)
Thomas Hardy の <i>The Woodlanders</i> における物語の方法	堀 川 史 子 (89)
T. S. エリオットの「部屋」	松 本 依 子 (103)
影としてのノストローモ	宮 川 美 佐 子 (119)

1994年1月

京都大学大学院英文学研究会

会則

1. 本会は京都大学大学院英文学研究会と称する。
2. 本会は会員相互の学問的向上をはかることを目的とし、随時会合を持つ。
3. 本会は年一回、機関紙『Zephyr』を発行する。会員はそれに投稿する資格を有し、その頒布を受ける。
4. 本会は京都大学大学院文学研究科英語学英米文学専攻在籍者有志、同出身者有志、同聴講生有志により構成される。
5. 4で定めるところの出身者有志は、特別会員になることもできる。
6. 会員及び特別会員は会費として年一定額を納める。その金額は会員間の話し合いにより決定する。
7. 責任者、会計係各一名、及び編集者若干名は会務を分担する。その任期は一年とし、選出は会員の互選による。

投稿規定

1. 投稿は英語学英米文学に関する未発表論文に限る。
2. 投稿申込締切は毎年3月10日とする。
3. 原稿締切は7月31日とする。
4. 投稿は原則として和文とする（引用は原文でも可）。分量は、本文と註を合わせ、400字詰原稿用紙40枚以内とする。

後記

『Zephyr』第7号をお届けいたします。『Zephyr』に名称が変更されてから既に5号目となりますが、なかなか発行時期が一定せず、申し訳ありません。この欄ででお詫びすることが半ば「伝統」と化している観のある現状ではありますが、速やかな発行を定着させるべく努力いたす所存ですので、諸先輩方には今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(H. A.)

Zephyr

第7号

1994年1月10日 発行

発行人 京都大学大学院英文学研究会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部英米文学研究室内

印刷所 喜多川